

フィリップ・カウフマン

Philip Kaufman

生年月日 1936/10/23

出身地 アメリカ／イリノイ州シカゴ

関連人物 ピーター・カウフマン（息子）
ローズ・カウフマン（妻）

【バイオグラフィ】

■シカゴ大学、ハーバード法律学校、シカゴ大の大学院を経て作家を目指す。が、食うや食わずの生活が続き、妻子を伴いヨーロッパを2年ほど放浪する。その間に観た、パゾリーニやベルトリッチの作品に影響を受けて、映画監督を志す。63年、友人の出資で、ベンジャミン・マスターとの共同作品“Goldstein”を発表。カンヌ映画祭の批評家賞を受賞した。72年の「ミネソタ大強盗団」が評価され、その後「SF／ボディ・スナッチャー」などの話題作を手掛けるようになる。83年の「ライトスタッフ」で成功し、超大作「存在の耐えられない軽さ」を手掛けて名監督の仲間入りを果たした。

【フィルモグラフィ】

フリードキン・アンカット（2018）	出演
私が愛したヘミングウェイ（2012）	監督
インディ・ジョーンズ／クリスタル・スカルの王国（2008）	キャラクター創造
ツイステッド（2004）	監督
クイルズ（2000）	監督
ライジング・サン（1993）	監督, 脚本
ヘンリー&ジューン／私が愛した男と女（1990）	監督, 脚本
存在の耐えられない軽さ（1988）	監督, 脚本
ライトスタッフ（1983）	監督, 脚本
レイダース／失われたアーク《聖櫃》（1981）	原案
ワンダラーズ（1979）	監督, 脚本
SF／ボディ・スナッチャー（1978）	監督
アウトロー（1976）	脚本
ミネソタ大強盗団（1972）	脚本, 監督
スーパー・ヒーロー／Mr. フランク（1967）	脚本, 監督, 製作